

令和7年度 ミュンヘン日本人国際学校 グランドデザイン

令和7年4月

【基本理念】

- 1 ミュンヘン及びその近郊に居住する子女に対し、文部科学省が定める「学習指導要領」を基に日本と同等以上の教育機会を提供する
- 2 日本人としての自信と誇り、且つ、国際性を持った、世界に貢献できる人物の育成を目指す
- 3 美しく正しい日本語、日本の文化と伝統の尊重、異文化への敬意、人倫の遵守、自律心の涵養を学ぶべき柱とする
- 4 教職員・保護者・理事が一致協力して教育環境の整備に努め、常により質の高い教育の実現を追求する

ミュンヘン日本人国際
学校理事会・保護者会
日本人会・日独協会

バイエルン州政府
ミュンヘン市教育局
日本国総領事館
文部科学省

【学校教育目標】

主体的に社会の変化に対応できる能力をもった、心身ともに調和のとれた児童生徒の育成

【今年度の重点目標 目指す児童・生徒像】

- グローバルな視点から多様性を認め合うことができる児童・生徒
- 自ら考え判断し、表現・行動できる児童・生徒

（知育）

【自ら学ぶ向上心の育成】

☆考え行動できる子
(伝える言葉)

- 自分の考えを積極的に表現できる子
- 自ら学び進んで課題解決ができる子

（徳育）

【豊かな心の育成】

☆心配りのできる子
(感じる心)

- 互いに違いを理解し認め合い、協力して頑張ることのできる子
- 挨拶など基本的な生活習慣を身につけている子

（体育）

【たくましい体の育成】

☆たくましい子
(働く力)

- 何事にも意欲的にチャレンジし、自己啓発できる子
- 強健な体を保ち、健康で安全な生活ができる子

【教科指導】

- 研究主題『共に学び合い、主体的に伝え合う児童生徒の育成』を大切に授業改善に努める
- 主体的・対話的で深い学びを実践する
- ICT機器を活用し、個別最適な学びを推進する

【MT等の現地理解教育】

- ドイツの自然や文化を活かした体験的な活動の充実を図る
- 探求的、体験的な学習を通して、ドイツの歴史、文化、生活習慣等に触れ、その理解を深める
- 学んだドイツ語をMTや現地校との交流活動で活用するなど主体的、創造的に取り組む態度を育てる

【道徳指導 特別活動】

- 個性を認め合い、共により良く生きようとする心豊かな児童生徒の育成に努める
- 全教育活動を通じ、人格の基盤とする道徳性の育成を図る
- より良い学校づくりのため、自治能力の育成に努める

【ドイツ語 英語指導】

- ドイツ語学習、英語学習を通じて、語学力の向上と国際感覚の育成を目指す
- ドイツ語圏の人や文化をより良く理解し、日常生活の充実を目指す

【目指す教職員集団】

- グローバル人材育成の最前線に勤務していることを自覚し、『選ばれる日本人学校』づくりに向け工夫ある教育活動に努める
- 質の高い授業・教育環境の提供を目指し、日々研鑽に励み資質向上に努める

【開かれた学校・保護者・地域と共につくる学校】

- 保護者会・日本人会・現地校・補習校等、関係諸団体との連携・交流
- 積極的な情報発信

児童・生徒の命を守り、居心地の良さを感じ安心して楽しく学べる学校